

十島村教育委員会だより 令和元年9月号

むわやがとカラ情報

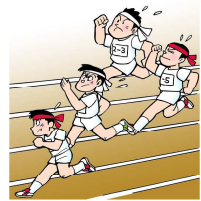
南北160km 「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育

十島村教育委員会
〒892-0822鹿児島市泉町13番13号
TEL 099-227-9771

9月・・・山海留学生

十島村教育委員会
教育長 有村 孝一

9月20日に、議会が終わりました。その夜に出港するフェリーとしま2で、小宝島に行く予定でした。しかし、その前日に発生した台風17号により、フェリーとしま2が欠航となりました。平島、小宝島、宝島の3島で開催されます運動会に行けなくなりました。



そのうち小宝島と宝島は、名瀬2泊便でない日曜日に開催されます運動会には行けません。そのため、今回はすごく都合がよかったので、私が小宝島に教育委員会の職員が宝島に行くことにして、だいぶ前から楽しみにしていました。とても残念でした。

また、この日は、山海留学生の保護者も何人か行かれることを聞いていましたので、おそらく気持ちちは同じだろうと思います。

さて、村の山海留学生といえば、9月2日から始まりました2学期に、新たに諏訪之瀬島に小学校6年生、宝島に小学校4年生と2名増えました。その結果現在では、山海留学生は、総勢26名になりました。昨年の今頃は18名ですから、かなり増えました。その要因としては、村で山海留学を経験した人が、友人等に良さを話したり、ホームページや各学校のブログを見て島で生活してみたいとか、学んでみたいといった子どもが増えたのではないかと思います。

山海留学生のための寮を口之島と平島に建設しました。その成果も出ているのかもしれませんが、今年から2年がかりで諏訪之瀬島にも寮を建設します。今後なお増加することが予想されます。地元児童生徒にとって、留学生との出会いは年代層の共通した話題や高校進学、生活面などのさまざまな情報交換を図るいい機会となっています。

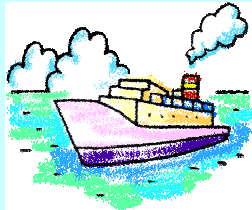
また留学生は、里親家族や寮監との生活を通して、人としての在り方や心のふれあい、大切さを学び、極小規模校ならではのマンツーマン授業による学力の向上など、今後のよりグローバルな社会を生き抜く資質や能力の基盤づくりの点で大きな成長をしています。



そして7島に配置された英語学習も十島村の魅力の一つになっています。このように両者にとってウィンウィンの結果となっています。

平成3年度から留学生の受入を実施しておりますが、各島に設置しました、制度の安定化や受け入れ家庭の確保のために話し合いを持つ組織であります「山海留学制度支援委員会」も機能して、令和の時代に新たな山海留学制度が展開されるかもしれません。

2学期は、山海留学生を含む、小学生66名、中学生31名の合計97名でスタートしました。あともう少しで、村の目指す100名規模です。村民の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。



第44回十島村教育研究大会

8月5日、6日の2日間にかけて、第44回十島村教育研究大会が鹿児島市勤労青少年ホームを会場として開催されました。昨年度からこの期間を学校閉庁にしたことで、村内のほとんどの先生方が参加することができました。



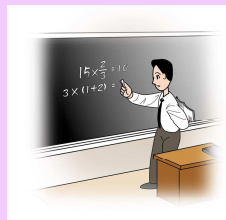
一年に1回、村の学校に勤務する先生方が集ま健康し、保健の在り方、学級経営の在り方、指導法や学級経営の在り方、熱心に討議されました。子どもたちに少しでも力をつけたいという先生方の気持ちが伝わってきました。また、二日目には県教育庁の山本悟義事務教育課長に「学力向上・生徒指導に係る施策等について」という演題で講演していただきました。

ふだんはなかなか外部の研修会への参加は難しいですが、今回の研究大会に参加することで自身の実践を振り返り、より効果的な指導法や子どもたちに分かる授業の在り方等について学ぶ機会になりました。この成果がこれからの授業に生かされ、子どもたちに力をつけることとなります。

また、学校閉庁期間中、学校の施設管理に御協力くださいました関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。



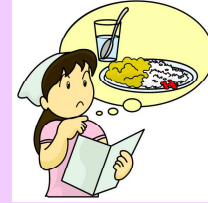
シリーズ 新聞に投稿
(令和元年8月28日南日本新聞「若い目」掲載)
宝島小1年 尾家 千晶



もうみすん しんわ たの しゅうごうするの、かぞ
もたのうさかぞいしあは、とて
のうさかぞいしあは、とて
のうさかぞいしあは、とて

くはよちこうしぜはちたうか
みちる、うゆうのおゆうん、ばんにらわ
やんごんもがのせいん、いんわんににじまし
なんもとないつせいん、たうん、たうゆまし
がとないつせいん、たうん、たうゆまし
がとないつせいん、たうん、たうゆまし

ぜんいん集合



シリーズ 新聞に投稿
(令和元年9月10日南日本新聞「若い目」掲載)
中之島小6年 田中 琉城

戦なく、これからは、他のことも楽しく挑
い、最近思うようになった。挑
い、最近思うようになった。挑
い、最近思うようになった。挑

う、中之島を走ること、思
んがいたこと、思
人がいたこと、思
づいたこと、思
鳥の鳴き声も、思
の近頃は、思
校の近くは、思
って、思

ぼくは走りだした



地域が育む「かごしまの教育」県民週間
(11月1日～11月7日)
各学校で、皆様の越しをお待ちしています。

おめでとうございます。

- 第16回席書大会
硬筆の部 大賞 平島小6年 新田真子さん
毛筆の部 県書道会賞 平島小6年 新田真子さん

- 第12回南日本ジュニア美術展
特選 諏訪之瀬島小4年 濱田千明さん
入選 諏訪之瀬島小1年 濱田幸奈さん
諏訪之瀬島小2年 辻幸奈さん

【口之島小・中学校からのメッセージ】
教諭 岡本 真人

口之島小・中学校に赴任して、4年半が過ぎました。転勤前は、初めての離島生活ということで大きな不安がありましたが、実際に住んでみると不便さよりも、これまで体験できなかった豊かさを実感しています。青い海と緑の山々に囲まれた大自然は、他では味わえないものです。タケノコ採りや追い込み漁など、島ならではの活動もたくさんあります。島民の方々は、島ですと野菜や魚などをしょっちゅう持って来て下さいます。子どもたちは、休日になるとカワや校庭で元気に遊んでいます。帰省先から口之島に戻ってくると、何年も住んでいる我が家に帰ってきたような、何ともいえない安心感に包まれます。妻や子どもたちとも、「ずっと口之島に住みたいね。」という話をよくしているところですよ。

昨年の8月には、伝統行事である口之島盆踊りに参加させていただきました。狂言の三番という大役をいただき、大変なプレッシャーがありました。しかし、島民の皆様から指導をいただきながら毎晩練習し、本番では何とか演じることができました。口之島の盆踊りは数百年の歴史がある、大変貴重な行事です。そのような伝統行事に関わらせていただくことができ、大変光栄に思いました。

自然の素晴らしさ、人の温かさ、伝統の奥深さを肌で感じながら、家族全員で口之島での生活を楽しんでいます。

『教職員仲間であるあなた』への私からのメッセージ

十島村での生活は、不便で大変なことも多いです。しかし、ここでの経験は、人生にとってかけがえのない財産となります。島での生活を楽しみ、たくさん思い出を作ってください。

シリーズ・・・十島村で学ぶ
小宝島中学校 1年 安本 風香

小宝島に来て楽しかったこと

私は四月に小宝島に来ました。小宝島に住んでいる祖母に勧められたのがきっかけでした。はじめは不安でしたが、優しく親切な友達や先生方、地域の方々のおかげで、楽しい毎日を過ごしています。小宝島に来て楽しかったことが二つあります。

一つめは、「一輪車」です。最初は全く乗れませんでした。友達や先生が手伝ってくれたので、乗れるようになりました。初めて自分でペダルをこげたときは、とてもうれしかったです。一輪車大会では、何度も降りてしまいましたが、最初より上手くなったのでよかったです。

二つめは、「地域の方々との交流」です。特に毎月第二日曜日にある『トカラいきいき教室』では、地域の方々や体操やレクリエーション、昼食などを楽しめます。毎回行う体操は、とてもユニークでおもしろいです。レクリエーションや昼食では、大人と子どもがいっしょになるので、地域の方々たくさん話することができます。

今後の目標は、勉強を頑張ることです。苦手な教科の学習も楽しくなってきたので、初めての定期テストでは、いい点数をとることができました。しかし、理数系の教科が苦手なので、克服できるように努力したいです。

将来の夢は、司書になることです。その夢を実現するために、小宝島で過ごす三年間、読書に励むだけでなく、様々なことにチャレンジして自分を成長させたいです。